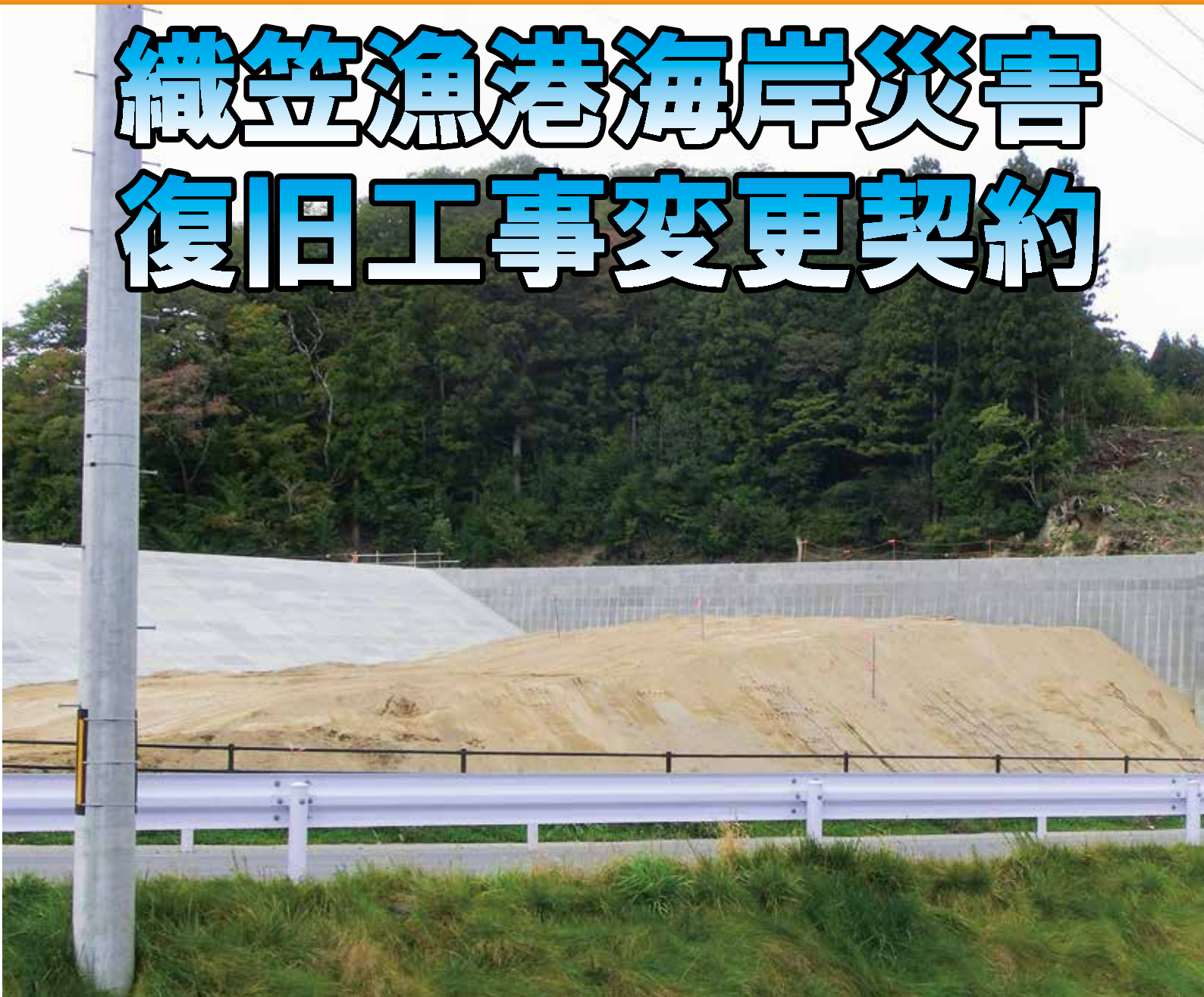


織笠漁港海岸災害 復旧工事変更契約



国道45号は写真中央の盛り土の上に整備されます

契約額25億7486万円に 国道45号は防潮堤を乗り越しつながら

東 日本大震災で被災した織笠漁港海岸の災害復旧工事は、国道45号との交差部の構造変更によって傾斜堤施工延長が短縮され、また、直立堤施工延長が延伸されることなどから変更契約が提案され、全員賛成で可決しました。

こ れにより織笠地区の国道45号は、織笠大橋から北に向かって進み、防潮堤の上を乗り越してつながることになります。

■主な変更内容

- ① 国道45号との交差部の構造変更により、傾斜堤施工延長を短縮し直立堤施工延長を延伸。
- ② 交差部の構造変更による地盤改良の施工延長の延伸に加え、湧水対策として施工箇所側の地盤改良を増工。地盤改良にウオータージェット工法を併用。
- ③ 一般型枠を残存型枠に変更。
- ④ インプレスライドを適用。